

(様式 1-5)

富岡町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 6 年 7 月 2 6 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	美と平和の親善大使「ミス・インターナショナル」を通じて富岡の今を伝える魅力発信事業（変更）		事業番号	A-3
事業実施主体		富岡町	総交付対象事業費		10,300 千円	
既配分額		4,202 千円	当該年度交付対象事業費		6,098 千円	
経費区分ごとの費用						
一 地域の魅力向上・発信事業①情報						
①情報発信事業						
					小計	6,098 千円
i) 風評動向調査						千円
ii) 体験等企画実施						6,098 千円
iii) 情報発信コンテンツ作成						千円
iv) ポータルサイト構築						千円
②外部人材活用					小計	千円
i) 企画立案のための外部人材の活用						千円
ii) 地域の語り部の育成						千円
二 関連施設の改修						
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修						千円
風評の払拭に関する目標						
・ 令和 7 年度の富岡町における入込客（外国人観光客含む）70,000 人 （令和 3 年度入込客数 22,848 人の約 3 倍）						
事業概要						
事業実施主体		富岡町				
主な企画内容		・ 町内小中学生などの子どもたちとの意見交換や文化体験による交流の実施 ・ 震災伝承施設及び復興へ取り組む観光スポットへの視察 ・ 富岡町民との懇談会における町内や県産品の食材を使用した料理の提供による風評払拭及び魅力発信				
主な事業の実施場所		福島県富岡町				
事業の実施期間		令和 5 年 10 月～令和 8 年 3 月				
企画内容						
【現状・課題】						
<現状>						
・ 富岡町は、令和 5 年 4 月に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、町の約 93%が解除された。						
・ 桜の名所である夜の森の桜並木の開花時期には多くの方が花見に訪れ、富岡町における観光入込客数は徐々に回復してきているが、未だ震災以前の水準に戻っていない。						
・ ALPS 処理水の海洋放出は令和 5 年 8 月から開始され、海外での禁輸等の影響が出ている。						
<課題>						
・ 福島県産品への忌避と放射線への健康影響への不安を改善するには、発信力のある国内外の方への働きかけが重要。						
・ ALPS 処理水の海洋放出により、中国に続いてロシアも日本の水産物を規制すると発表するなど水産業への影響が広がっており、水産業だけではなく観光業としても富岡町や福島県沿岸部自治体への客足が再び遠のく恐れがある。						
・ 原子力災害が発生した東京電力福島第一原子力発電所と第二原子力発電所に挟まれた町である富岡に足を運んでもらうには、発信力のあるインフルエンサーに被災地の現状を実際に見て正しい情報を理解してもらい、その情報を国内外に発信してもらうことが重要である。						

【課題に対するこれまでの取組と成果】

- ・令和5年度は、33 か国のミス・インターナショナル代表が、町内の認定こども園、小中学校等での町民との交流や、伝統芸能・伝統文化の体験、廃炉研究施設やワイン畑視察などを実施。
- ・数万人のフォロワーを持つミス・インターナショナル自身や町公式などの Instagram での発信、町広報紙や視察受け入れ団体での発信、新聞、テレビ取材により富岡町での町民の元気な姿や伝統文化の発信により、町民や町のポジティブな発信ができた。また、200 万人以上が視聴したミス・インターナショナル世界大会においても、町民との交流動画が放映された。さらに、ミス・インターナショナル代表は、帰国後も当町での交流の様子を発信。
- ・ミス・インターナショナルには福島第一原子力発電所や伝承館、とみおかアーカイブミュージアムにて被災状況や復興の状況を説明したうえで、地場産の農産物や海鮮料理をふるまい、おいしく召し上がっていただき、Instagram 等で地場産品のおいしさについて発信していただいた。
- ・ミス・インターナショナル代表からは、実際に訪れてとても勉強になり感銘を受けた、今後も交流を継続していきたいなどの感想をいただいた。
- ・次年度は、ミス・インターナショナルの代表者に今後もお越しいただくことや、ミス・インターナショナルのフォロワーなどに富岡町を認知していただけるような広報の仕掛けが必要であると感じた。

【今年度事業における具体的な取組内容】

以下の取組を実施することにより、富岡町の復興の状況や福島県産・富岡町産農産物の魅力についての認知向上を図る。

1 第 62 回ミス・インターナショナル世界大会 2024 出場者を対象とした招聘事業

実施期間：令和 6 年 11 月 6 日（水）～7 日（木）

招聘予定者数：40 名程度（ミス・インターナショナル 2024 各国代表 35 名程度、帯同スタッフ（一般社団法人国際文化協会）5 名程度）

実施体制：富岡町、委託事業者、一般社団法人国際文化協会

①富岡町

- ・事業を実施する委託事業者の選定
- ・委託事業者を指導・監督し、効果的な風評払拭に向けた情報発信を行う。

②委託事業者

- ・富岡町からの委託を受け、首都圏からの移動手段、宿泊施設の手配のほか富岡町内の視察ツアーの企画・運営を行う。
- ・富岡町からの委託を受け、マスメディア等への情報の発信を行う。

③一般社団法人国際文化協会

- ・ミス・インターナショナル出場者の交流派遣を実施する。

④委託事業者

- ・視察の様子を動画にして YouTube などでも発信する。

概算費用：6,098 千円

増額理由： 経済産業省が予定していた福島第一原子力発電所の視察（移動手段や宿泊施設の手配含む）が中止となったため本事業の中止も検討した。しかし、「国際社会への貢献」を目指す世界各国のインフルエンサーであり美の親善大使を当町に招聘し、町の復興状況の発信及び、原子力発電所事故による放射線影響に加えて ALPS 処理水の放出に伴う県産品の安全性への懸念が広がるなか、彼らを通じて安全性及び魅力を発信する本事業は、コストパフォーマンスが高い事業である。さらに、今年度は情報発信の強化を図ることを計画していることから、単独事業として実施するため首都圏からの移動手段及び宿泊費用について増額申請するもの。

取組内容： 第 62 回ミス・インターナショナル世界大会 2024（2024 年 11 月開催予定）に出場する各国代表に東京電力福島第一原子力発電所の視察及び富岡町を訪問していただく。

各国代表に富岡町の文化芸能等に触れながら県産・町産農産物を味わっていただくとともに、町民とふれあいながら町の元気な姿を知っていただき、富岡町の復興の状況や県産・町産品の安全性や魅力について情報発信を行う。

5 年度の実施の結果、ミス・インターナショナル各国代表者に県産・町産品の安全性や魅力、町民のあたたかさや富岡町の古き良き文化を知っていただき、SNS 等により数多く情報発信を行っていただいた。しかしながら、SNS 等で発信していただく際、同名の他自治体と誤認した発信となっていたり、「FUKUSHIMA」のような広域の表記となっていたりするなど、必ずしも富岡町の魅力を正確に発信できていないものも見受けられたことから、今年度はミス・インターナショナルの方に正確に情報が伝わるよう工夫を行い、福島県双葉郡富岡町を認知いただけるような情報発信となるよう改善したい。

また、観光スポット（ビュースポット）への視察を増やして、SNS 等を見た方が実際に訪れたくなるような情報発信に改善したい。

これらの改善点を踏まえて以下の取組を行う。

①町民との懇親会

- ・県産・町産農産物等を味わいながら、文化芸能や町民との交流を通じて、富岡町の復興の状況や県産・町産品の安全性や魅力を知っていただく。

②町内の子供たちとの交流

- ・町内の認定こども園等を訪問し、子どもたちとの文化交流などを通して、富岡町の復興、学校の復興状況、さらに県産・町産品の安全性や魅力を知っていただく。

③町内視察

- ・富岡町の成り立ちと複合災害がもたらした地域の変化の伝承する「とみおかアーカイブミュージアム」、震災後に新しい産業づくりに取り組みワインを通して町産品の安全性や魅力を伝える「とみおかワインドメニュー」や夜ノ森の桜もみじや清水の大イチョウなどを視察する。

④①～③の情報発信

- ・テレビや新聞社などのマスメディアで①～③の様子を取り上げてもらうとともに、ミス・インターナショナル出場者に①～③の視察を通じて得た知識や体験について SNS により発信してもらうことで、国内外へ富岡町の復興の状況や県産・町産品の安全性や魅力について情報発信を行う。

⑤PR 動画の制作

- ・インバウンド向け動画となるよう視察の様子を動画編集し、YouTube に英語版で投稿し発信する。

【今年度事業における目標】

【アウトプット】

- ・視察ツアーの実施。ミス・インターナショナル各国代表35名程度招聘
- ・フォロワー数千人から数万人を持つ各国代表による SNS での情報発信（視察を通して各3回以上）
- ・マスメディアを活用した情報発信1回以上

【アウトカム】

- ・富岡町が発信する情報への接触者：年200万人以上（SNSによる情報発信による接触者約200万人）

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ・発信力のあるミス・インターナショナル各国代表に、福島県産・富岡町産品農産物の魅力や安全性、原子力被災地域の住民とのふれあいを通じて「富岡町の今」を学んでもらうことで、放射線及び放射性物質等に関する正確な知識の普及、理解向上等を図り、風評の払拭及び富岡町の魅力を世界に発信できる。
- ・富岡町へのインバウンドの回復

【次年度以降の取組】

- ・富岡町を訪れたミス・インターナショナルへのアンケートにより、多くのフォロワーを持つインフルエンサーの視点からの魅力発信の方法や観光としての改善点等を把握して、よりよい魅力発信事業となるよう改善していくとともに、観光事業が活性化するよう関係機関と連携しブラッシュアップを行っていく。
- ・当該事業終了後も継続的に情報発信を行う体制を整備できるようノウハウの蓄積や検討を行っていく。